

## 大野 立志 議員



### 一問一答方式

- ① 新型コロナウイルスワクチン
- ② 決算概要と財政
- ③ 第3期防災行政無線デジタル統合化整備事業及び情報通信基盤整備事業

### 新型コロナウイルスワクチンについて

**問** ワクチン接種後の副反応の発生状況とその対応をお伺いする。

**答** 8月5日時点で、1回目の接種を終えた方が2万1,792人、2回目の接種を終えた方が1万7,543人です。接種会場で救護対応を行ったのは64件で、そのうち救急搬送を行ったのが5件です。症状は気分の悪化や血圧の変動

によるふらつきなどが多く、ほとんどの方が接種会場内での処置で回復しています。会場で十分回復しなかった方は念のため救急搬送し、いずれも医療機関での処置により、その日のうちに回復しました。

なお、接種当日や数日後に体調が悪くなり、病院で治療を受けた方や入院された方から、予防接種後健康被害救済制度の申請について3件の相談がありました。この制度は、予防接種後に発生した健康被害で国が予防接種との因果関係を認めた場合に医療費等が支給されるもので、申請があった場合には定められた手続ののっとり、処理を進めていきます。

### 決算概要と財政について

**問** 財政規律を堅持するガイドラインの作成状況をお伺いする。

**答** 現在の財政状況は、学校耐震化など大規模事業や豪雨災害からの復興事業のほか、交付税額の減額など一般財源の確保にも苦慮するなど大変厳しい状況です。

その対策として、財政指標のほか中・長期的に健全な財政運営を行う

ための考え方を方針として定め、公共施設等の整備、改修、その他事務事業実施の優先順位などを検討できるように、昨年、大洲市財政健全化推進委員会を立ち上げました。会では、実質公債費比率を10%程度で運営できる財政体制をつくるためガイドラインを作成しますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化など、今後の財政への影響等の見込みが難しい状況であるため、現在は、令和2年度の決算状況を踏まえ、今後の財政指標の推移等の分析を行っています。

そのため、具体的に市の考え方を提示できる段階ではありませんが、今年度中には今後の財政方針や目標数値を整理する考えです。

### 第3期防災行政無線デジタル統合化整備事業及び情報通信基盤整備事業について

**問** 工事の進捗状況及び供用開始時期はいつ頃になるのか。

**答** 第3期防災行政無線デジタル統合化整備事業は、市民に災害情報等を確実かつ迅速に伝達することはもちろん、肱川・河辺地域の無線施設をアナログ方式からデジタル方

式への更新が必要となったことから整備を進めているところで、工事全体を通して当初の計画どおり進んでおり、供用開始は令和4年4月からの予定です。

情報通信基盤整備事業は民設民営方式で整備を進めていますが、令和2年12月の着工後、現地調査や基地局の整備、支障樹木の伐採、光ファイバの敷設等を順次実施しています。

長浜局内の今坊、仁久、上老松、下須戒は既に整備が完了し、8月31日から供用開始です。大洲局内の平野町平地と平野町野田の一部や、北只、下松尾を除く南久米地区、菅田町大竹は、9月までに整備が完了し、10月末から供用開始の予定です。

このほか、新谷、八多喜、白滝、肱川、河辺、森山、櫛生、豊茂の8つの基地局は、4月から5月にかけて支障樹木の伐採を実施しており、順次光ファイバを敷設する予定です。これらの基地局での供用開始予定は、令和4年2月から3月で、整備が完了した局舎単位で始めますので、供用開始時期や地元説明会の日程等は随時お知らせします。